

の増額変更をするために、本定例会に補正予算を提案いたしております。

林業関係

次に、林業関係について申し上げます。

町有林一般造林事業については、造林事業が豊津地区で、下刈事業は、豊津地区及び富野地区で、それぞれ予定どおり完了しております。

また、緑資源機構と新規分収造林事業契約をしました造林事業は、現在、作業道の新設整備を進めております。

なお、平成十七年度に実施した字豊津一〇七番地ほか三筆九・八六ヘクタールの町有保安林内での除間伐事業において、「保安林内間伐届出書」が未提出であったことが、北海道の調査により確認され、九月五日付けで渡島支庁より森林法の規定違反として文書により厳重注意を受けたところであります。

今後、このようなことがないように十分に注意を払って参ります。

漁業関係

次に、漁業関係について申し上げます。

平成十九年七月末現在の水揚実績は、約二十三億七百万円と前年同期と比較し、二億一千七百万円ほど上回っており、ホタテ貝の生産が約一千万トン増加したことが主な要因となっております。

ホタテ貝養殖漁業の町内における採苗状況は、比較的良好でありましたが、例年どおり他管内から健苗稚貝の移入が行われ確保されております。磯資源増大事業におけるアワビ種苗放流については、殻長三センチメートルの種苗を六月に三万個放流しております。

また、ウニ種苗放流については、来年三月までの間に約三十三万個の種苗の放流を計画しております。

マツカワの資源回復と増大に取り組んでいる北海道栽培漁業振興公社は、えりも以西太平洋海域において、今年度も百万尾の放流を計画しており、このうち長万部漁業協同



組合では、四万尾の稚魚の配布を受け八月末に放流しております。

平成十九年第一回町議会定例会において、脱カドミウム処理について廃止することを報告しました水産廃棄物リサイクル施設については、廃止に伴う事務手続きとして、施設の改善計画と施設の処分申請の二本立てで、その内容を北海道を通じて水産庁と事前協議をしており、国からの回答があり次第あらためてご報告いたします。

商工観光関係

次に、商工観光関係について申し上げます。

本町の観光振興等の一環として実施されております「おしゃまんべ毛がにまつり」については、天候にも恵まれ町内はもとより、町外からの来場者も多く訪れ大変賑わいました。

また、地場産品にこだわり、長万部漁業協同組合等各種団体のご支援をいただき、毛が

にの格安販売や、ウニ・アワビを始め、生産者直売による新鮮野菜・花苗販売実施など限定販売ではありましたが、地産地消の成果が一層得られたイベントとなりました。

合宿誘致事業は、長万部町温泉利用協同組合が誘致活動を積極的に取り組み、夏休み期間を中心に、中学・高校・大学の六十団体が、剣道・柔道・バスケットボール・弓道等多種にわたり合宿を行い、延べ二千人以上が宿泊し、町を賑わせました。

消費者に対する課題では、全国的に社会問題となっており、高年齢者を狙った悪質商法や多重債務による相談が寄せられ、契約解除等の指導を行っております。

今後とも、被害を未然に防止するよう情報収集を行い、関係機関と連携を図り、体制の強化を図って参ります。

建設事業

次に、建設事業について申し上げます。

建築事業では、給食センタ